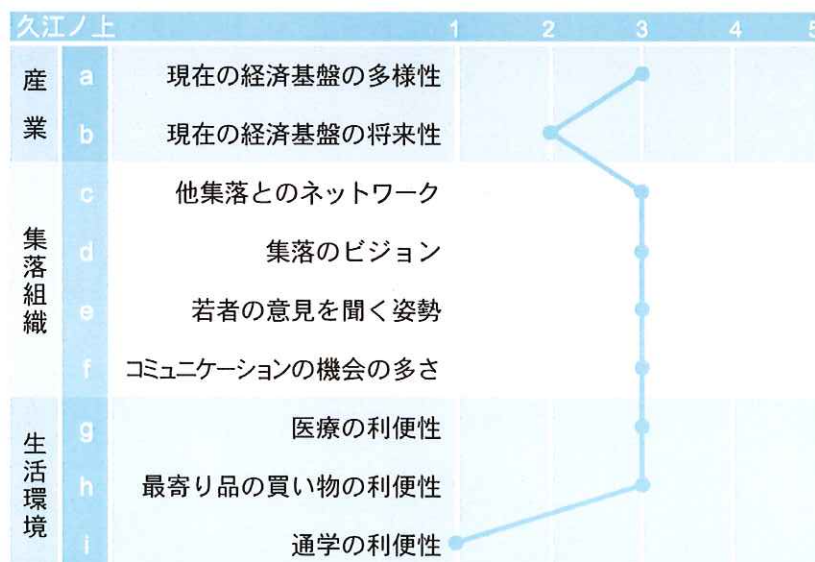


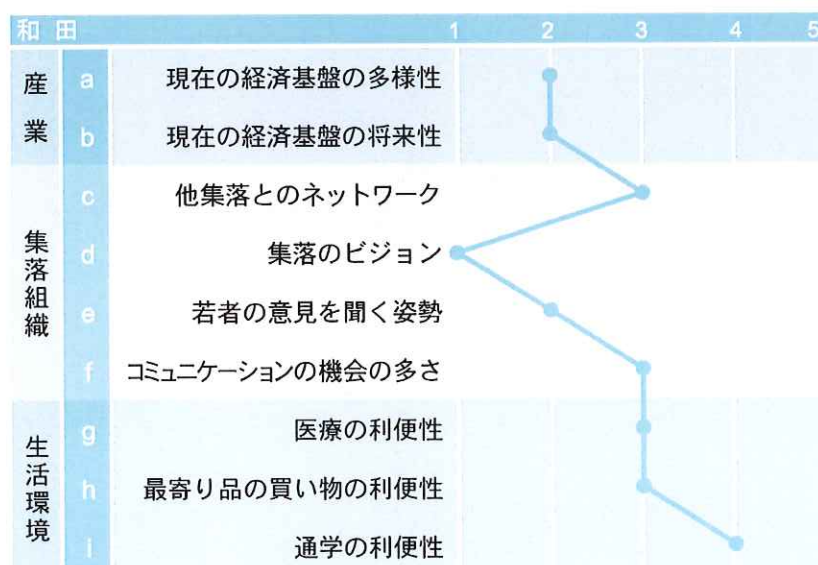
## 久江ノ上 -kuenoue-

|      |   |                     |                                                                                                                                                                 |
|------|---|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業   | a | 現在の経済基盤の多様性 (3点)    | 農業(主にユズ)が主体の集落です。役場周辺まで車で40分程度かかるため、通勤するには不便となっています。土木関係に従事しているのは一人だけといった状況ですが、役場周辺に住んでいる息子がユズ栽培の出づくりにくるというケースが2例ほどあります。系統出荷とは別に独自の出荷ルートをもつなど、対象集落内では特色を有しています。 |
|      | b | 現在の経済基盤の将来性(2点)     | 高齢化が進行しておりユズを値段のいい玉で出せなくなってきました。土木に関しては公共工事はほぼ済みであり、将来性はほとんどありません。ユズに関しても値段の安い外国産との競合が大きな問題となってきました。                                                            |
| 集落組織 | c | 他集落とのネットワーク(3点)     | 久江ノ上のユズの生産グループのリーダーが中心となって、他集落のグループと一体となったユズ栽培の取り組みをおこなっています。                                                                                                   |
|      | d | 集落のビジョン(3点)         | ユズの契約栽培を行っているグループのリーダーがいます。さらに、ユズだけではなく、農産物の直販(ごめん・なはり線の開通をにらんで)にも取り組んでみたいという意欲のある農家が一部います。                                                                     |
|      | e | 若者の意見を聞く姿勢(3点)      | 若者がいません。集落でバリバリの現役といえば50歳台となっています。                                                                                                                              |
|      | f | コミュニケーションの機会の多さ(3点) | 昔は、集落の皆で旅行に行ったりしていましたが、学校が廃校になった頃から、だんだん一体感がなくなってきました。                                                                                                          |
| 生活環境 | g | 医療の利便性(3点)          | 車のある人は自分で通院するし、リハビリバスも来てくれるのであまり不自由していません。ただし、緊急の時は不安があります。                                                                                                     |
|      | h | 最寄り品の買い物の利便性(3点)    | 車のある人はまちで買い物ができるし、ない人や高齢者も移動販売が来てくれるので現在のところ余り不自由はしていません。                                                                                                       |
|      | i | 通学の利便性(1点)          | 集落に子供はいませんが、いるとすれば野友まで通学しなければならないので不便です。U、Iターンなどによる若い家族が出てこない限り、通学を必要とする子供はいないというのが実情です。                                                                        |



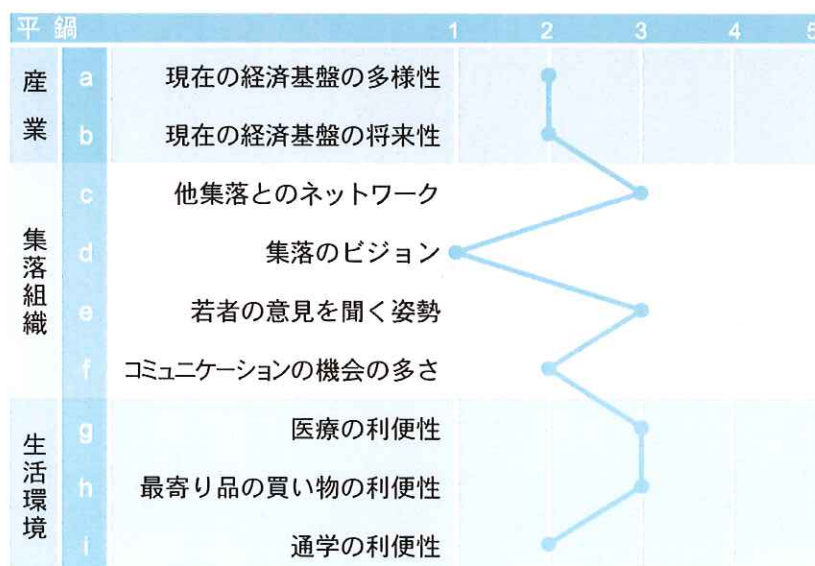
## 和田 -wada-

|      |   |                       |                                                                                                          |
|------|---|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業   | a | 現在の経済基盤の多様性 (2 点)     | 森林管理署、高齢農業（主にユズ）、年金生活者、役場、消防、村営温泉、土木、森林組合などに勤務する実態がありますが、殆どが旧営林署勤務の年金生活者で、夫婦でユズ栽培を行うなど、経済基盤の多様性は少ない状態です。 |
|      | b | 現在の経済基盤の将来性 (2 点)     | 新たな雇用の場も見つけれないし、このまま高齢化が進行して働けなくなる可能性が大きくなっています。                                                         |
| 集落組織 | c | 他集落とのネットワーク (3 点)     | 村の中北部の有志が集まる「ユケムリ会」というボランティアグループがあり、高齢者の家の庭の剪定をしたり、家の改修をしたりしています。まだ、元気な間は相互扶助していこうという意識があります。            |
|      | d | 集落のビジョン (1 点)         | 今のところ、この集落をどうしていこうという明確なビジョンはありません。                                                                      |
|      | e | 若者の意見を聞く姿勢 (2 点)      | 若者が 2, 3 人いますが、集落外に働きに行っており、今のところ地域活動に積極的に参加していません。集落の将来についての関心は薄いようです。                                  |
|      | f | コミュニケーションの機会の多さ (3 点) | 春の花見やゲートボール大会をそれぞれ年に 1 回しています。小島の学校が廃校になってから集まる機会が減りました。                                                 |
| 生活環境 | g | 医療の利便性 (3 点)          | 車のある人は自分で通院するし、リハビリバスも来てくれるのであまり不自由していません。                                                               |
|      | h | 最寄り品の買い物の利便性 (3 点)    | 車のある人はまちで買い物ができるし、ない人や高齢者も移動販売が来てくれるので不自由していません。                                                         |
|      | i | 通学の利便性 (4 点)          | 送り迎えがあり、学校まで 15 から 20 分で行くことができ、あまり不自由を感じていません。                                                          |



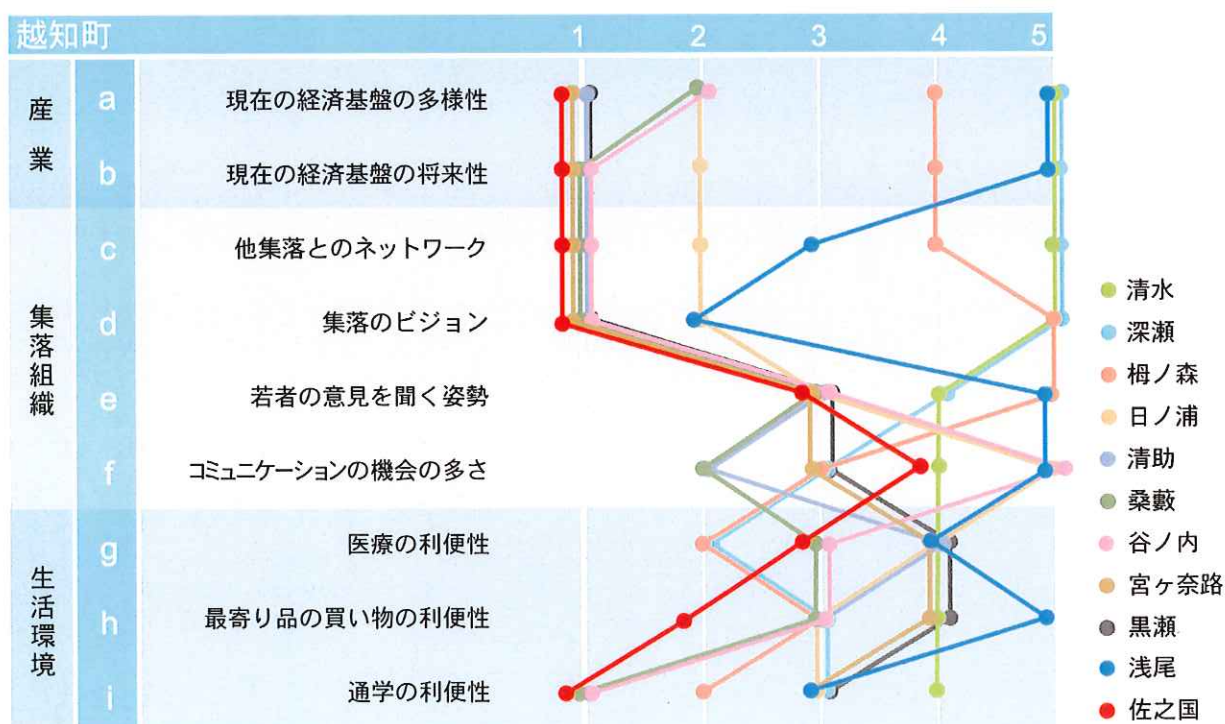
## 平 鍋 - h i r a n a b e -

|      |   |                       |                                                                                                     |
|------|---|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業   | a | 現在の経済基盤の多様性 (2 点)     | 郵便局勤務、年金生活者、森林組合勤務、高齢農業者（主にユズ）などが主体です。本集落は郵便局勤務の退職者が多く、年金生活でやっていける者が多くいます。その傍らユズ栽培、自家用飯米、野菜を作る程度です。 |
|      | b | 現在の経済基盤の将来性 (2 点)     | ユズが安くなってきており、体質が弱くなってくると思われます。それに高齢化が追い討ちをかけるでしょう。森林組合関係もこの木材不況、低迷の中で明るい材料は今のところ見られません。             |
|      | c | 他集落とのネットワーク (3 点)     | 村の中北部の有志が集まる「ユケムリ会」というボランティアグループがあり、高齢者の家の庭の剪定をしたり、家の改修をしたりしています。まだ、相互扶助の精神が残っています。                 |
|      | d | 集落のビジョン (1 点)         | 高齢者ばかりでビジョンはないというのが現実です。                                                                            |
|      | e | 若者の意見を聞く姿勢 (3 点)      | 区長は 40 歳であるが、やり始めて 3 ヶ月で、勉強し始めたところです。高齢者の言うことをよく聞くようにしています。しかし、同世代間の者が少なく、若い力を結集するということまでいっていません。   |
|      | f | コミュニケーションの機会の多さ (2 点) | 区長の経験では、これまでそういうものがあつたことはありません。集落の集まりにも参加する人といない人がいます。集落の存続に関する危機感が弱いのかも知れません。自分の代は年金で生活できるという感じです。 |
| 生活環境 | g | 医療の利便性 (3 点)          | 車のある人は自分で通院するし、リハビリバスも来てくれるのであまり不自由していません。                                                          |
|      | h | 最寄り品の買い物の利便性 (3 点)    | 車のある人はまちで買い物ができるし、ない人や高齢者も移動販売が来てくれるので不自由していません。                                                    |
|      | i | 通学の利便性 (2 点)          | 送り迎えがあるが、時間が制約されるため何か行事があるときに不便を感じています。                                                             |



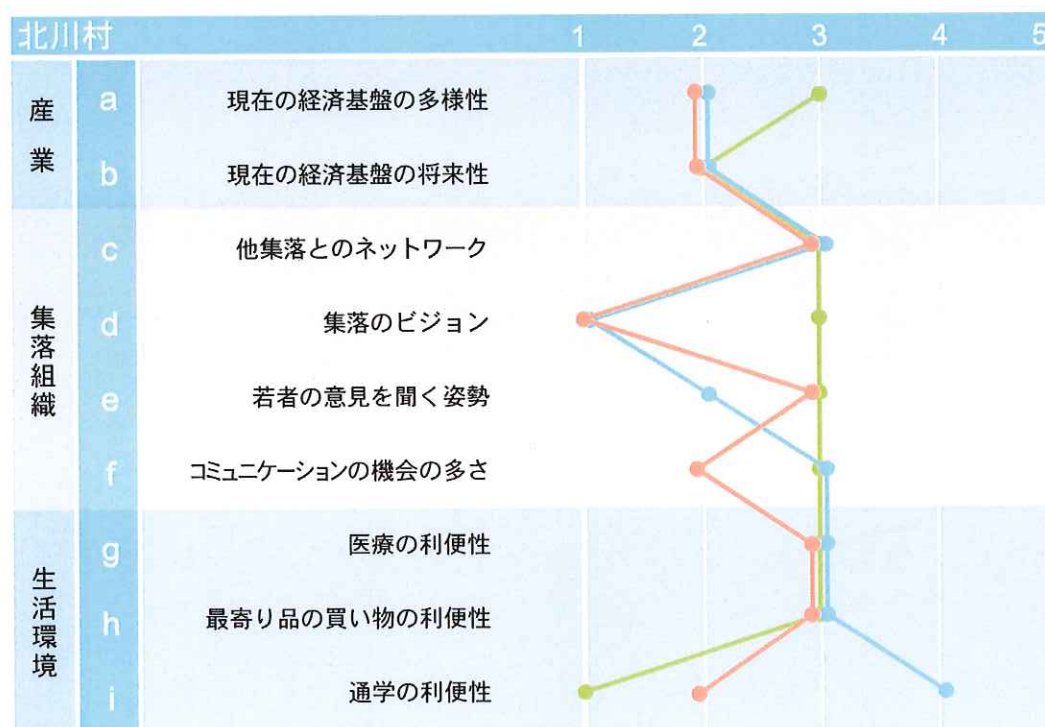
## 越知町カルテ一覧

|   | 深瀬 | 清水 | 柵ノ森 | 日ノ浦 | 清助 | 桑藪 | 谷ノ内 | 宮ヶ奈路 | 黒瀬 | 浅尾 | 佐之国 |
|---|----|----|-----|-----|----|----|-----|------|----|----|-----|
| a | 5  | 5  | 4   | 2   | 1  | 2  | 2   | 1    | 1  | 5  | 1   |
| b | 5  | 5  | 4   | 2   | 1  | 1  | 1   | 1    | 1  | 5  | 1   |
| c | 5  | 5  | 4   | 2   | 1  | 1  | 1   | 1    | 1  | 3  | 1   |
| d | 5  | 5  | 5   | 2   | 1  | 1  | 1   | 1    | 1  | 2  | 1   |
| e | 4  | 4  | 5   | 3   | 3  | 3  | 3   | 3    | 3  | 5  | 3   |
| f | 3  | 4  | 3   | 5   | 2  | 2  | 5   | 2    | 3  | 5  | 4   |
| g | 2  | 4  | 2   | 4   | 4  | 3  | 3   | 4    | 4  | 4  | 3   |
| h | 3  | 4  | 3   | 3   | 3  | 3  | 3   | 4    | 4  | 5  | 2   |
| i | 3  | 4  | 2   | 3   | 1  | 1  | 1   | 2    | 3  | 3  | 1   |

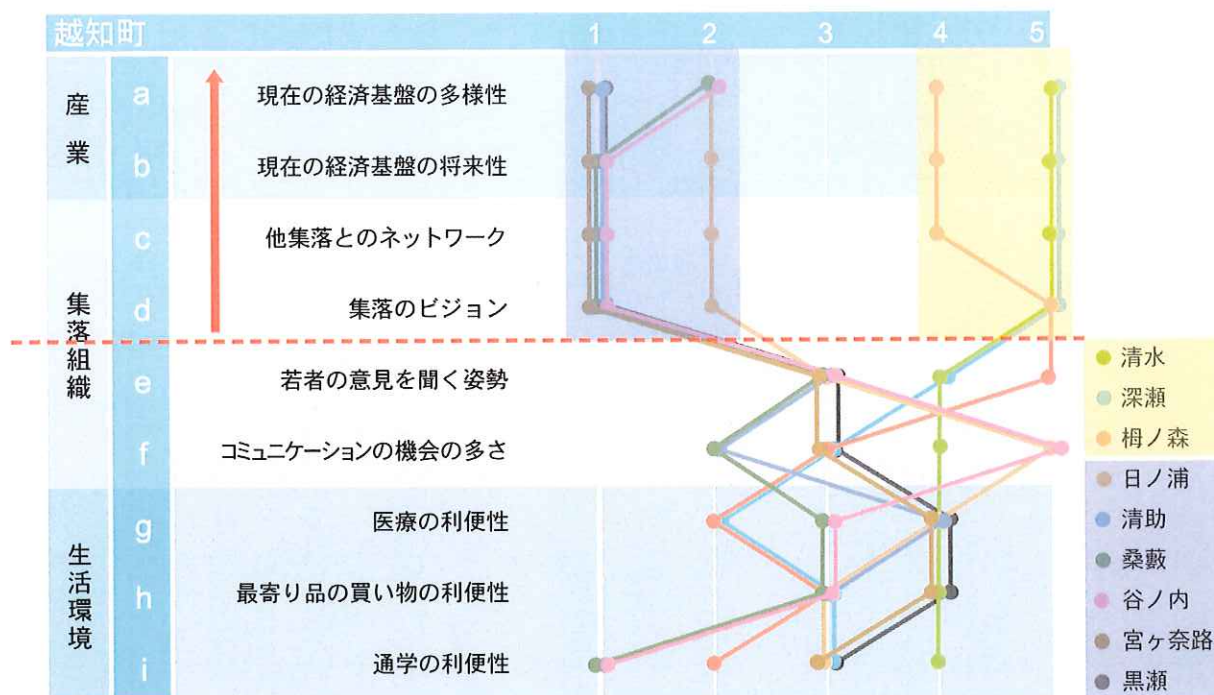


## 北川村カルテ一覧

|   | 久江ノ上 | 和田 | 平鍋 |
|---|------|----|----|
| a | 3    | 2  | 2  |
| b | 2    | 2  | 2  |
| c | 3    | 3  | 3  |
| d | 3    | 1  | 1  |
| e | 3    | 2  | 3  |
| f | 3    | 3  | 2  |
| g | 3    | 3  | 3  |
| h | 3    | 3  | 3  |
| i | 1    | 4  | 2  |



## 2-3 カルテから見る集落盛衰の要因



注：「浅尾」と「佐之国」については、集落調査の結果、人口増減の要因が中心地（役場）からの距離によるものが強いことが判明したため、上記のグラフには他集落との比較上、両集落は載せていません。

また、北川村については調査対象集落数が少なく、村全体がユズの産地という似たような条件下にあって特徴的な差が見られなかったため、今回は越知町のデータを軸に比較することとしました。

上図のように、越知町の集落カルテの点数グラフを見ると、a～dの項目の評価点が大きく2つのグループに分かれます。それぞれのグループに含まれた集落を見てみると、a～dの点数が高いグループの集落は、集落調査結果によると、集落の今後の見通しが比較的明るい集落という共通点があります。よって、集落調査の結果と集落カルテの比較から、「現在の経済基盤の多様性」「現在の経済基盤の強さ」「他集落とのネットワーク」「集落のビジョン」の4つの要因が特に集落の人口維持及び盛衰には関係しているものと考えます。